

# 横須賀市中小企業景況レポート

第 39 号 (令和 4 年 7 月号)

編集・発行：横須賀市経済部経済企画課  
〒238-8550 横須賀市小川町 11  
電話 046-822-9523

市内中小企業の景況感を調査しました。

調査対象は、かながわ信用金庫と湘南信用金庫が従来から行っている景況調査先のうちの市内企業に加え、横須賀市及び横須賀市産業振興財団がさらに追加調査しました。

3か月に1回発行しています。

【市ホームページ（下記）からもご覧いただけます。】

[横須賀市中小企業景況レポート | 横須賀市](#)

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4402/keikyoreport/yokosukasikeikyuripoto.html>

- ① 調査対象：市内中小企業
- ② 調査企業数：172社（うち、かながわ信用金庫+湘南信用金庫 調査156社）
- ③ 調査期間：前期・・・令和4年1～3月の景況感（調査時点 令和4年3月1日）  
今期・・・令和4年4～6月の景況感（調査時点 令和4年6月1日）  
次期・・・令和4年7～9月の景況感（調査時点                   "                   ）
- ④ 調査項目：景況、売上額、収益、雇用人員、資金繰り
- ⑤ 業種分類：製造業、建設業、卸・小売業、不動産業、サービス業
- ⑥ 集計方法：D I 値算出による（次ページにD I 値の説明あり）

## 景況及び4項目の調査結果（全業種）

\* D I 値調査結果は裏面に記載

\* 【 】は今期のD I 値を記載

**全業種の景況感は、前期の△18Pから1P向上し、【△17P】となりました。**

今期の景況感は、製造業【0P】、不動産業【0P】が、それぞれ24P、13P大幅に向上しましたが、建設業【△27P】、卸・小売業【△27P】は、それぞれ10P、9P低下しました。

項目別では、売上額【△15P】、雇用人員【△26P】がそれぞれ7P、11P向上しましたが、ほかの項目は、横這いの状態です。

昨年同期（令和3年4月～6月）との景況感比較は、「良い」の割合がやや増えていますが、未だ「悪い」が3割を超え、新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢の影響で引き続き厳しい状況です。

DI 値・・・良い（多い）、変わらない（普通）、悪い（少ない）の回答のそれぞれが全体に占める構成比を求めます。次に、良い（多い）等の構成比（%）－悪い（少ない）等の構成比（%）を計算した値がDI 値となります。プラス値が大きいほど景況感が良く（好況）、マイナス値が大きいほど景況感が悪い（不況）と言えます。

このレポートは次の基準で景況感を分類しました。（マイナスは△表示）

良い (15P以上)	やや良い (6P～14P)	変わらない (△5P～5P)	やや悪い (△6P～△14P)	悪い (△15P以下)
↑	↗	→	↘	↓

## 業種別 調査結果と事業者の声

\* DI 値調査結果は裏面に記載

\* 【 】は今期のDI 値を記載

### (1) 製造業 景況感 【 0P <変わらない> → 】 (前期比 24P)

前期と比べ、すべての項目で向上しました。特に収益【△27P】、雇用人員【△31P】は、それぞれ14P、12P向上しました。

次期は、売上額と収益で向上が見込まれるものの、ほかの項目については横這いの見込みです。

#### ☆事業者の主な声☆

- ・海外出張が出来るようになったことや他県への移動制限がなくなったことが、昨年同期より良くなっている要因。
- ・原材料高の影響により原価率は上昇しているが、利益を確保できるだけの価格転嫁が出来ている。
- ・半導体不足による減産の影響はあるが、今期は取扱品目を増やしているため売上は微増。

### (2) 建設業 景況感 【 △27P <悪い> ↓ 】 (前期比△10P)

前期と比べ、雇用人員【△31P】、資金繰り【△11P】が、やや向上したものの、売上額【△24P】、収益【△27P】は、横這いの状況です。

次期は、売上額、収益で向上が見込まれていますが、雇用人員は、やや低下する見込みです。

#### ☆事業者の主な声☆

- ・感染者数の減少とともに、少しずつではあるが売り上げは伸びている。
- ・工事受注は増えているが、材料費が高騰しており、受注ごとの工事の採算性が問題となる。資材の輸入遅延による工期延期等も予想され、予断は許さない状況が続く。
- ・例年、受注が少なくなる時期だが、今年は大口の解体工事の受注が入り増加した。受注増加に対応するための人材確保と教育が課題である。

**(3) 卸・小売業 景況感 【△27P <悪い> ↓】 (前期比△9P)**

前期と比べ、雇用人員【△25P】が15P大幅に向上しましたが、他の項目は横這いの状況です。

次期は、収益がやや向上する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・ゴールデンウィーク明けからようやく快方傾向に向かうも、まだまだ前年売上・客数ともに大幅割れしている。今年は、商店街のイベントを少しでも実施して、集客に繋がりたい。
- ・春先より花見、ひな祭り、端午の節句などのイベントや天候に恵まれた。7～9月売上は、前年比10%増加を見込む。
- ・コロナ禍の状況が不安定であり、固定客の外出頻度が減少している。高齢者を対象とした訪問販売部門を中心に販売強化し、店売り減少分をカバーしていく。

**(4) 不動産業 景況感 【0P <変わらない> ⇨】 (前期比 13P)**

前期と比べ、売上額【15P】、資金繰り【14P】が、それぞれ28P、21P大幅に向上し雇用人員【△7P】も13P向上しました。

次期は、すべての項目で低下する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・リモートワークの普及により場所を選ばず仕事ができることから、横須賀、逗子、葉山地区の物件需要が高まっている。空き物件は、引き続き不足している。
- ・木材や電気設備の価格高騰などの影響を受け、物件の販売価格が1.5倍ほど高くなっている。
- ・材料高騰等の要因もあり、市内の不動産の動きが回復するには、期間を要するものとする。

**(5) サービス業 景況感 【△16P <悪い> ↓】 (前期比1P)**

前期と比べ、売上額【△8P】、雇用人員【△22P】が、それぞれ14P、8P向上しましたが、収益【△32P】、資金繰り【△22P】それぞれ13P、8P低下しました。

次期は、すべての項目で横這いの見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・4月からデリバリーサービスの一環で始めた配送無料キャンペーンで、全体的に大幅な売り上げ増加となった。さらにゴーストキッチンサービスも取り入れて、デリバリーを強化、店内飲食と物販の売上増加に繋げていく。
- ・規制の緩和により客足が好調となった。県民割等の諸政策による予約問い合わせが増えている。未だ短縮営業を続けているものの、客足は元に戻っていくと思う。
- ・日常が戻りつつあり、新型コロナウイルス感染症の再感染や物価の上昇が大きなものでなければ、昼・夜営業で売上回復が期待できる。

DI値 調査結果

前・・・前期 令和4年1月～3月の景況感（調査時点 令和4年3月1日）  
 今・・・今期 令和4年4月～6月の景況感（調査時点 令和4年6月1日）  
 次・・・次期 令和4年7月～9月の景況感（調査時点 令和4年6月1日）



業種別調査企業数(回) 業種別調査企業数 (回答数)

(単位：社)

	全業種	製造業	建設業	卸・小売業	不動産業	サービス業
前期	167	37	34	45	15	36
今期	172	36	33	52	14	37
次期	172	36	33	52	14	37

(単位：ポイント)

業種 項目	全業種			製造業			建設業			卸・小売業			不動産業			サービス業		
	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次
景況	景況全般について総合的な概況をお聞きました。																	
良い(A)	20	17	15	19	22	28	21	15	21	20	13	6	7	14	14	25	22	8
変わらず	42	49	60	38	56	55	41	43	58	42	47	63	73	72	57	33	40	65
悪い(B)	38	34	25	43	22	17	38	42	21	38	40	31	20	14	29	42	38	27
DI値(A)-(B)	△18	△17	△10	△24	0	11	△17	△27	0	△18	△27	△25	△13	0	△15	△17	△16	△19
今-前/次-今	1		7	24		11	△10		27	△9		2	13		△15	1		△3
売上額	製造業については、生産品を出荷した額をお聞きました。																	
好転(A)	15	23	21	14	19	22	12	21	21	22	23	17	7	29	21	14	24	24
変わらず	48	39	50	45	39	50	50	34	52	38	35	52	73	57	50	50	44	46
悪化(B)	37	38	29	41	42	28	38	45	27	40	42	31	20	14	29	36	32	30
DI値(A)-(B)	△22	△15	△8	△27	△23	△6	△26	△24	△6	△18	△19	△14	△13	15	△8	△22	△8	△6
今-前/次-今	7		7	4		17	2		18	△1		5	28		△23	14		2
収益	売上から経費を引いた収益状況をお聞きました。																	
増加(A)	12	15	12	8	17	19	9	12	21	13	17	8	13	14	7	17	11	5
変わらず	48	44	60	43	39	53	50	46	58	43	39	63	74	72	72	47	46	57
減少(B)	40	41	28	49	44	28	41	42	21	44	44	29	13	14	21	36	43	38
DI値(A)-(B)	△28	△26	△16	△41	△27	△9	△32	△30	0	△31	△27	△21	0	0	△14	△19	△32	△33
今-前/次-今	2		10	14		18	2		30	4		6	0		△14	△13		△1
雇用人員	需要に対応できる労働状況をお聞きました。																	
多い(A)	2	3	3	0	8	8	0	0	0	0	0	2	7	0	0	6	8	3
適正	59	68	67	57	53	56	59	67	58	60	75	75	66	93	86	58	62	70
少ない(B)	39	29	30	43	39	36	41	33	42	40	25	23	27	7	14	36	30	27
DI値(A)-(B)	△37	△26	△27	△43	△31	△28	△41	△33	△42	△40	△25	△21	△20	△7	△14	△30	△22	△24
今-前/次-今	11		△1	12		3	8		△9	15		4	13		△7	8		△2
資金繰り	資金繰りが上手く行っているかを判断するためお聞きました。																	
余裕がある(A)	10	10	8	11	11	11	9	15	15	7	8	6	13	14	7	11	5	3
支障がない	64	68	71	59	67	64	65	61	64	69	69	73	67	86	86	64	68	75
苦しい(B)	26	22	21	30	22	25	26	24	21	24	23	21	20	0	7	25	27	22
DI値(A)-(B)	△16	△12	△13	△19	△11	△14	△17	△9	△6	△17	△15	△15	△7	14	0	△14	△22	△19
今-前/次-今	4		△1	8		△3	8		3	2		0	21		△14	△8		3

〈参考〉昨年同期と現在の景況感比較(回答156社)

	企業数	今期構成比	(参考) 前期構成比
昨年と比べ「景況感」は良い(A)	40社	26%	20%
昨年と比べ「景況感」は変わらない、横ばい	62社	39%	44%
昨年と比べ「景況感」は悪い(B)	54社	35%	36%
DI値(A)-(B)		△9 P	△16 P

